

多文化共生アワード 2024 受賞団体

No.	推薦団体・個人	所在地	活動の種類	活動名称	活動内容（概略）
1	<p>札幌子ども日本語クラブ (会長：谷 光)</p> <p>○ 設立：2001年 ○ 会員数：80名 (2024年4月)</p>	札幌市	<p>・ 外国籍の子どもに対する教育支援</p> <p>・ 日本語学習支援</p>	外国人・帰国者の子どもの日本語学習支援	<p>【会の発足と主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2001年、札幌市内の中国帰国児童生徒の日本語学習支援を目的に会を発足。外国ルーツの子ども達の困難さや支援の必要性を学校現場と関係者へ周知し続ける。 ・ 2006年、札幌市教育委員会が開始した「札幌市帰国外国人児童生徒教育支援事業」、また厚生労働省の「中国残留邦人等2世・3世のための日本語支援事業」に参加し支援を行う。 ・ 2006年、9校12名だった対象児童生徒は、2024年11月現在では180名を超えている。 <p>【支援活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「指導協力者」である無償ボランティアが、小・中学校や高校へ赴き、日本語などの指導を実施。 <p>(活動例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学生A（母語：ネパール語、定山溪小学校） <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小学生の漢字ドリル」を活用し「読み」などを学習 ○ 中学生B（母語：モンゴル語、石山中学校） <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みんなの日本語 初級Ⅰ・Ⅱ」などを使用し、小学3～5年の漢字の読み書きを練習 ○ 高校生C（母語：中国語、札幌大通高校） <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みんなの日本語初級Ⅱ」他を使用し指導 <p>来日後から1年半で日本語で日常生活の会話可能に</p> <p>◆ 年間約80名を超える児童生徒支援</p>
2	<p>恵庭国際交流プラザ (代表：山崎 秀樹)</p> <p>○ 設立：1995年 (30周年)</p>	恵庭市	<p>・ 地域活動への参画支援</p> <p>・ 住民への意識啓発</p>	<p>① 在住外国出身者や留学生の生活相談と文化適応支援</p> <p>② 市民に向けた多文化共生に関する意識啓発のための学習会及び文化交流</p>	<p>① 在住外国出身者や留学生の生活相談と文化適応支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プラザの会員が、恵庭市在住の海外出身の子ども、家族、配偶者に対し、日本での生活について助言したり、文化や習慣を体験できる機会を設け支援。 ・ 育児経験のある会員：日本での育児や教育制度について助言 ・ 日本語指導ができる会員：外国人労働者へ日本語指導・支援 <p>② 市民に向けた多文化共生に関する意識啓発のための学習会及び文化交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「●●(国)を知るセミナー」～ 自国や自国文化についての講演会 例) 「中国の春節」、「インドネシアの文化」、「マレーシアの社会」、「ウクライナの歴史」ほか ・ 「おいしい国際交流(料理講座)」～ 自国の代表的な料理を調理してもらい交流会 例) 「台湾」、「ジャマイカ」、「フィリピン」ほか